

審議会等会議録(全体版)

審議会等の名称	令和3年度第2回山口県央連携都市圏域推進協議会
開催日時	令和4年2月4日(金曜日)10:30～11:30
開催場所	リモート会議
公開・部分公開の区分	部分公開
出席者	委員:山口市長(会長)、宇部市長(副会長)、萩市長、防府市長、美祢市長、 山陽小野田市長、津和野町長 オブザーバー:山口県総合企画部次長、島根県地域振興部市町村課長
事務局	山口市総合政策部企画経営課、宇部市政策広報室政策調整課
次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 報告事項 山口ゆめ回廊博覧会の事業内容報告の概要について 4 議事 第2期山口県央連携都市圏域ビジョン(案)について 5 その他 6 閉会
内容	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <p>1 開会 2 会長あいさつ(山口県央連携都市圏域推進協議会会長 伊藤和貴) 3 報告事項 4 議事 5 その他</p> <p>～主な意見交換内容～</p> <p>【委員】</p> <p>まずは、各市町において、地域経済の維持、回復に向けた集中的な対策に取り組み、地域の産業の元気を取り戻し、さらには、圏域全体の賑わいを創出する取り組みを進めていくことが大事だろうと思う。先日、山口県と山口市が2023年に日本で行われるG7のサミットに伴う、関係閣僚会議の会場誘致に取り組みされるという話を聞いた。もし誘致が整えば、7市町の特産品の提供や、7市町周遊のルートの公開など、各市町にも波及する仕組みを考えていただきたい。</p> <p>また、11月の協議会でも話題に上がった地域の公共交通の維持について、コロナ禍において、公共交通利用の低迷というような状況があることは、十分承知しているものの、地域内公共交通の維持は重要な課題であると考えている。圏域として利用促進策を講じることに加えて、路線維持の要望も是非ともお願いしたい。</p>

【事務局】

MICE 誘致については、いかにして、圏域の周遊につなげていき、圏域の経済循環につなげていくかということが非常に重要だと認識しており、重点プロジェクトの観光地域づくりにおいても、そうした広域交通結節点等を活かした新たな交流の創出というところで、しっかり位置付けてまいりたい。公共交通の維持については、JR等への要望など、必要に応じて検討してまいりたい。

【委員】

定住実現・雇用創出プロジェクトについて、中小企業に対する各種支援についても、効果的に進めるためには県内の各市町が連携して取り組む必要がある。

山口市において、昨年、新山口駅前に産業交流拠点施設、KDDI 維新ホールを新たに開設され、県央地域の産業の賑わいを創出していく上で中核となる施設であると考えており、本市の事業者にも利用を紹介している。

そうした中で、本市の産業支援施設の在り方を見直し、新たな創業支援の拠点施設を整備することとした。新たな施設においては、山口県の山口 DX 推進拠点「Y-BASE」や、他市の産業支援拠点としっかりと連携しながら取り組んでいきたい。

【委員】

前回協議でも発言させていただいたが、地域内での安定した移動手段の確保が非常に重要な課題と思っており、今後、具体的な取組については、プロジェクトチーム等、専門的な見地からの意見等を取り入れながら、課題解決に向けて取組を進めてほしい。また、圏域内での若者の交流の場づくりについて、KDDI 維新ホールの活用のほか、7市町それぞれを舞台に是非やっていただきたい。そうすることが、住民に見える形での連携にもつながると考える。

【事務局】

若者の交流の場づくりについては、観光地域づくりプロジェクトの中においてしっかりと意識しながら進めてまいりたい。若者をターゲットとしたイベントの開催や施設の利用のほか、例えば商工会議所青年部等の若手団体が実施されるイベント等への支援を通じ、民間活力も生かしながら、交流の場づくりが図れるような形を考えてまいりたい。

【委員】

第2期のビジョンについては、新たに産学官、共創のイノベーション圏域づくりが重点プロジェクトに加えられており、産業界、大学、行政の連携強化をもって圏域活性化を図る仕組みが構築されることは、今後のビジョンの推進に当たって、また、圏域内における経済活動の維持、回復にも大変有効な取り組みにつながるものと感じており、本市内の大学も、圏域のプロジェクトにおいて多様な主体と連携を図る中で、有効な活用につなげていけるものと考えている。

また、人的交流の観点から、圏域の子どもたちによる交流も新たに盛り込まれており、自分の生まれ育ったまちや地域を知ると同時に、この7市町における各地の魅力あるスポットを知り、また貴重な体験を重ねることで、将来的な圏域内の定住にもつながる効果が期待できるのではないかと考えている。

【事務局】

産学官連携については、圏域として初めての取組になるものと考えており、市立の大学をお持ちの市には、円滑な連携の進め方や、圏域内の企業等との連携の可能性について、御所見を賜りたいと考えている。

また、圏域の子どもたちの交流の促進については、先日ご提案をいただき、是非実施させていただきたいとの考えから、重点プロジェクトの取組に掲載をさせていただいている。各市町の様々な地域資源を活用しながら、各市町の個性を子どもたちに知っていただく、そして、将来の定住にもつながるといった形になるように進めてまいりたい。

【委員】

この2年間、コロナの影響で観光客は本当に減少している。GOTOトラベル等の観光キャンペーンの効果で持ち直した時期もあったが、オミクロン株の影響で感染が急拡大し、まん延防止等重点措置が適用され、再び厳しい状況となっている。

こうした中で、令和3年度は、コロナ対策のもとでの山口ゆめ回廊博覧会の効果もあり、観光面、特に商工事業者には喜ばれたと感じている。

観光分野については、第2期ビジョンでも、圏域マイクロツーリズムの展開やインバウンド対策、2025年の大阪・関西万博、こうしたものに非常に期待をしており、また一緒になってしっかり取り組んでいきたい。

地域公共交通の維持・確保についても、JR西日本がこのコロナ禍の影響から、経営の合理化を加速化してきているが、利用促進を含めた対策をしっかりと行っていかないといけない、大きな課題として受け止めている。

令和4年度は、JR 駅にも関連する大きな周年事業もあり、こうした取組とともに、JRの利用促進というのも図っていききたいし、圏域の取組とも連携させていきたいと考えている。その他、圏域での連携開始以降、酒造会社による圏域でのイベント参加など、民間レベルでも連携が進んでおり、こうした交流を大事にしていききたいと考えている。

【事務局】

大阪関西万博に向けたデスティネーションキャンペーンの誘致、また様々な周年事業の活用など、引き続き連携して圏域のPRに取り組んでまいりたい。

【委員】

第2期ビジョンの重点プロジェクトの大きな方向性については大いに同意し、MaaSを始め既存の公共交通網の活用を圏域で検討していくことが非常に重要であると思っ

	<p>ている。</p> <p>一方で、第1期の反省として、コロナ禍を迎えた後で、今後どのようにこの圏域の取組を進めていくのか、もう一度見極めなければいけないと感じている。例えば、山口県、島根県の取組と重なる部分も多々あるように見受けられ、そうした部分をなぜ圏域でやらなければならないのか、というのをもう一度整理をしていかないといけない。</p> <p>こうしたことも含めて、今後、ビジョンを策定し、事業に対する予算配分といった場面で、予算配分が、7、8月頃に決まった後に我々首長に報告があるというような状況もあるため、この辺りはやはりきちんと説明をしていただきたい。</p> <p>時代が急激に変わっていく中で、この圏域で今後やっていくべきこと、7市町全てに対してメリットがあるのは観光分野であろうかと思う。様々な重点プログラムがある中でも、少し濃淡をつけた方がいいように感じる。スマート圏域づくりの中で、都市OS、データ連携基盤の部分などについても、まだ国の方でも方向性が定まっていない、また、どのようなデータ連携をするのかというところが見定まっていない中で、取組を進めるリスクもあるということを共有しておかなければならないと思う。</p> <p>しかしながら、最初に述べたように、大きな方向性としては同意するものであり、公共交通対策や、様々なイベント等も連携して実施できればと思うので、引き続きよろしくお願ひする。</p> <p>【事務局】</p> <p>予算の調整等については、事務局の調整不足の点について反省させていただいている。今後、第2期ビジョンを進めていくに当たっては、各プロジェクトチームにおける進行管理、PDCAサイクルなどをしっかり回す中で、課題の抽出などを行いながら、事業の取組の方向性をしっかり見定めて、効果が上がるような形で重点化していくような形を考えてまいりたい。</p> <p>【伊藤会長】</p> <p>それでは、先ほど事務局から説明があった、第2期山口県央連携都市圏域ビジョン(案)について、今後、幹事会においてしっかり調整を行いながら、3月末に策定をすると、そういった方向でよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>6 閉会</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次第、出席者名簿、関係者名簿 ・資料1 山口ゆめ回廊博覧会の事業内容報告【概要版】 ・資料2 第2期山口県央連携都市圏域ビジョン(案)【概要版】 ・資料3 第2期山口県央連携都市圏域ビジョン(案) ・参考資料 コロナ禍における集中的な対策の検討状況

問合せ先

山口市 総合政策部 企画経営課
TEL 083-934-2747